

# 令和4年度 苫小牧市立澄川小学校 ことばとまなびの教室（通級指導教室）シラバス

## 主な年間行事計画

1学期		2学期		3学期	
4月		8月		1月	
5月	保護者面談 学校訪問	9月	前期三者懇談	2月	後期保護者面談
6月		10月		3月	
7月		11月			
		12月			

## 学習内容・評価

教科等	1年間の学習内容	学習の評価方法
自立活動	・個別の教育支援計画に基づいた 個々の長所の伸長や課題の改善	・基本的生活習慣・心理的安定 ・人間関係の形成 ・環境の把握・身体の動き・コミュニケーション

- 在籍は通常学級のまま、週に1時間～8時間の個別指導を基本とした自立活動を受けるため通級する教室です。
- 言語（ことばの教室）やコミュニケーションの課題など（まなびの教室）の改善を目的に1単位時間45分の指導を行います。
- 言語通級指導教室は、他校通級も受け入れており、放課後の指導を行っています。
- 個別の教育支援計画・個別の指導計画をもとに、一人ひとりの様子に応じて、学習内容（指導時数）を計画していきます。
- 評価については懇談の中で、それぞれの課題に応じた成長の様子を確認し合います。

## ことばとまなびの教室とは

### 【ことばの教室】

- ①うまく発音できない音がある
- ②吃音があり、日常生活での困りごとがある
- ③話せることばが少ない、お話が他の人に通じにくい、おしゃべりが苦手

主に発音指導や語彙（ごい）の拡充、心理的適応指導を行っています。

- ①発音指導  
☆口腔機能（なめる・かむ・吹く等）を高める学習や、正音の抽出や誤音の弁別力を高める学習を行い、発音能力の基礎を育てます。発音練習や日常への般化をスモールステップで行います。
- ②吃音のあるお子さんへの指導  
☆基本的には、リラックスできる楽しい活動を設定しながら、発話意欲を高める指導を行います。慣れていく中で、話し方や読み方のリズムの練習を行いながら、吃症状の緩和化や、吃にともなう不自由感・不安・緊張などの生活のしにくさの改善をはかります。自分の思っていることや感じていることをリラックスして、のびのびと話したり、表現したりできることをめざしていきます。
- ③知っていたり使ったりできることばが少ないお子さんへの指導  
☆遊びなどの楽しい場面を設定し、ことばでのやりとりから言語の拡充を図っていきます。具体的な場面で、適切なことばがけをし、言語刺激を与えながら、必要に応じて読む・書く・話すなどの練習をします。

通常は個別に指導を行います。発音や吃音のお子さんについては、1対1の学習を基本に、コミュニケーションを広げる活動を行っています。必要に応じて、グループ学習も行います。  
あくまでも本人の能力に応じた、興味関心を生かした活動内容を設定することで、自尊心を高め自己有用感や有能感を育むことを重要視します。

### 【まなびの教室】

- ④聞く・話す・読む・書く・計算する・推論するなどの特定の学習が苦手
- ⑤不注意・衝動性・多動性など行動面の苦手さ
- ⑥興味・関心が狭い、特定のものにこだわりがある、場面状況がわからず集団に入れないなど対人関係の苦手さ

気持ちの安定を図り、本人に合った学習方法を見つけたり、人と上手にかかわる方法を学習したりしながら、学校や日常生活に適應できるように指導・支援していきます。

- ④特定の学習の困難さに関すること  
☆子どもの興味関心を生かした題材を活用し、聞く・話す・読む・書く・計算する・推論するなどの教科学習の基本となる事柄の指導を行う他、絵や工作、運動などの内容を取り入れて指導します。苦手なことだけにとらわれず、得意なところを活用できる方法を考えます。
- ⑤行動面の困難さに関すること  
☆見通しがもてるよう絵カードなどで視覚的に示すことや、望ましい行動をあらかじめ伝えておくなどの取組みから、成功経験を積み上げる学習を行います。また、上手くできたときの動機付けとして「ごほうびの活動」などを設定し、定着や般化をねらいます。
- ⑥対人関係の困難さに関すること  
☆主として認知課題（環境からの刺激を適切に理解する取組み）や適応課題（場への適応や社会性の定着をねらった取組み）の活動を中心に、学習を行います。他者の感情の理解や自分の感情の適切な伝え方、トラブルの解決方法など、社会性の獲得を目指した指導を行います。絵カードを用いた状況把握トレーニングや、遊戯療法、感覚統合療法などの技法を取り入れながら、実践的応用力を高めていきます。

基本的には個別学習を中心とします。担当者とのやりとりを通して相手意識を高め、かつコミュニケーションの楽しさを実感できるよう取り組みます。  
個別学習からスタートしたお子さんが、2人での学習、3人以上での学習と次第に大きなグループにして指導していく場合があります。集団参加の基礎を養います。

